

## Group C

### 研究テーマ

クリニカルクラークシップで指導医が適切な指導を行っているか？

- クリニカルクラークシップで指導医が適切な指導を行っているか？
- FD 受講者と非受講者
- 学生による指導医評価、自己評価
- 2x2表

### デザイン

富士研でクリニカルクラークシップ講習会を受けた指導医が 4 時間程度の 5 micro-skills 法をメインとした指導医講習会を開催して、その講習会を受講した CC 指導医と受講していない指導医の下で指導を受けた学生に質問表に解答してもらう(指導内容の評価)。指導医による自己評価

### 研究対象、施設、人数

クリニカルクラークシップ参加学生 100 名

複数の学生が 1 名の指導医の下でクラークを行う

現在指導医数 200 名： 100 名は講習会受講者、100 名は未受講者

未受講者 100 名をランダム化して、FD を受ける群(FD 群)、受けない群(C 群)に FD 参加を依頼して FD 群で FD を受けた群とそれ以外の群間で比較

### 評価項目、評価法

#### 学生による指導医評価

指導医から質問を受けたか(5microskills)?

質問が教育ニーズを抽出するためになされたか？

一般的なミニレクチャーがなされたか？

- …等の質問を行う

#### 指導医の自己評価

上記質問とほぼ同様

		FD	
		+	-
指導法	+		
	-		

### 解析の方向性

評価の信頼性(学生の解答と教員の自己評価の一致性:一致率と  $\kappa$ )

効果の示標 (相対危険度?、relative risk, absolute risk reduction, NNT?)

### 課題項目

アンケートの回収率をいかに高めるか？

記名方法によるバイアス

質問紙（学生には 5 microskills の説明をアンケート用紙に記載）

1. どの分野での質問が多かったですか？(医療面接、身体診察、検査、診断、治療)
2. 質問が理解できましたか？
3. 質問の意図が理解できましたか？
4. 質問に答えることができましたか？
5. その回答は正しかったですか？
6. 質問によって教員は、あなたが理解していることと理解していないことを把握したと思いますか？
7. 自分の知らないことについて一般的な情報提供を受けましたか？
8. 患者の問題解決をすることができましたか？
9. 自分が間違った答えをしたときに罵倒や非難はされませんでしたか？
10. された人に質問します。次から答えが分かっている、質問には答えまいと思いましたが？
11. クリクラの実習は有意義でしたか？

Group C

仮想データに対する解析

テーマ

医師国家試験成績と学内の成績の関連について

仮説

国試の成績には OSCE や実習の成績は関与していないのでは？

データ

KyoyoEng, Kiso, Rinsyo, CBT1-2, OSCE1-2, Clerk1-3, Kokushi